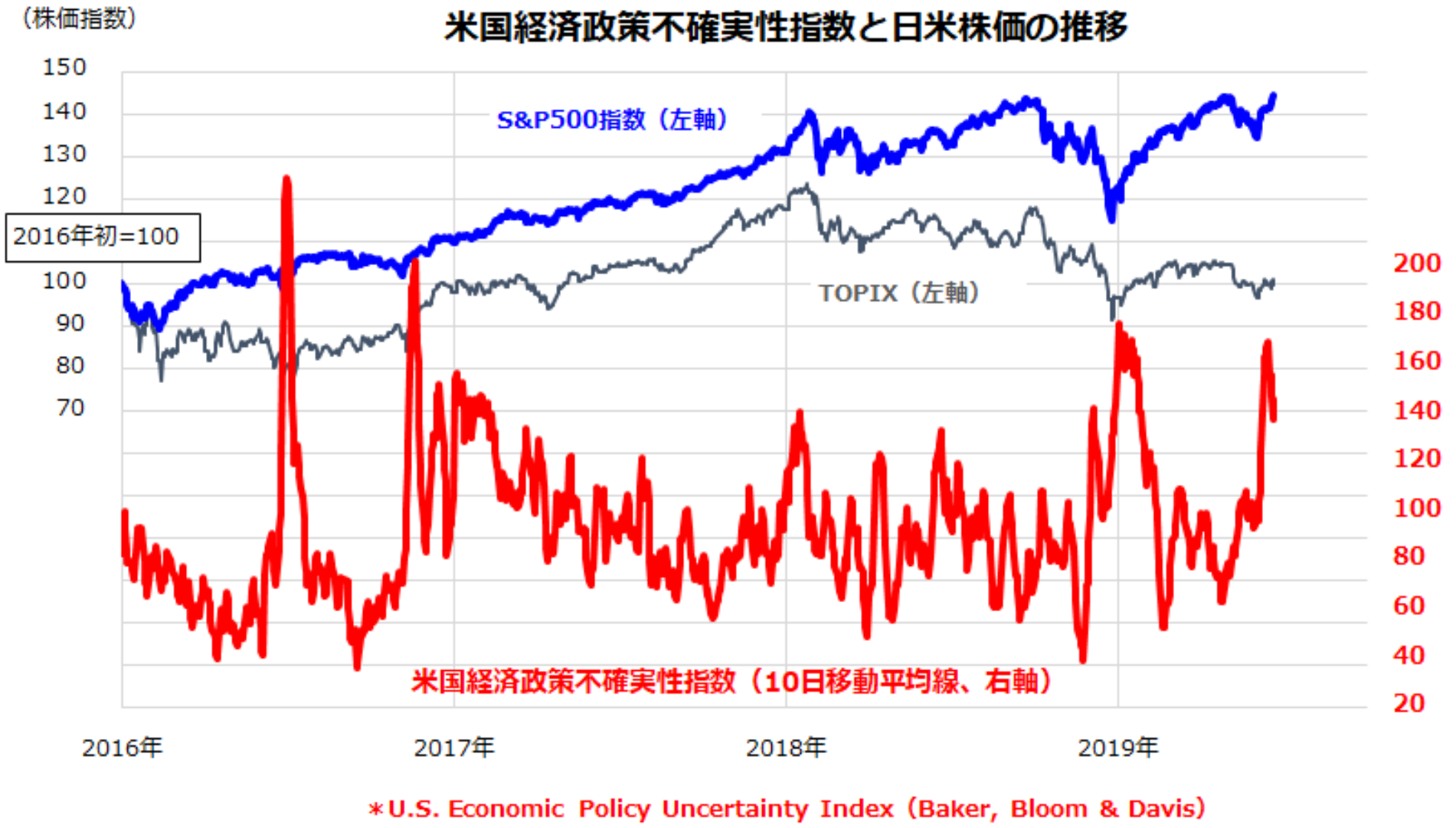
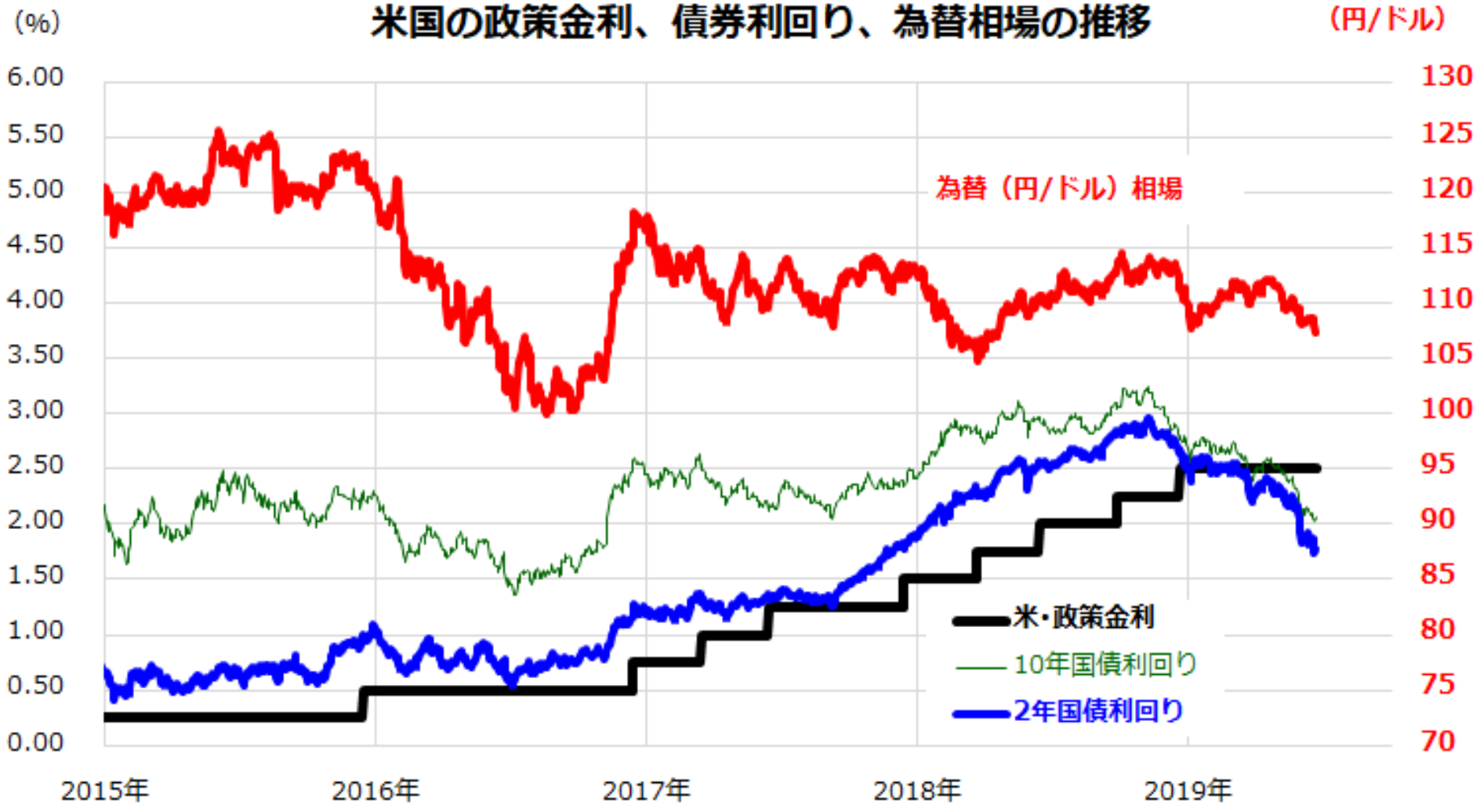
S&P500指数は最高値を更新



（出所）Bloombergのデータより楽天証券経済研究所作成

為替の円高傾向が日本株式の重石



＊米・政策金利＝FF金利の誘導目標（上限）

（出所）Bloombergのデータより楽天証券経済研究所作成

米中貿易交渉のシナリオ別相場見通し

シナリオ	G20での米中交渉と行方（概略）	シナリオ別の相場見通し
メインシナリオ 米中が一定の合意に至る	G20での米中首脳会談を経て一定の暫定合意が発表される。貿易不均衡の改善案に合意した上で、構造改革（外国企業の技術移転強要や知的財産問題など）や安全保障を巡る問題は継続協議とする。中国側は、香港での市民弾圧を巡るトランプ政権による批判や介入を回避したい。	**世界市場が一時懸念していた「米中決裂」を避けたことを市場は好材料とみなしそう。景況感の改善、米国株高、ドル高・円安、日本株高で応じやすい。**
リスクシナリオ 対立が激化・長期化	米中首脳会談でも、構造改革の検証プロセスや安全保障を巡る溝を埋められず。トランプ政権の「米国第一主義」が続く。対中関税第4弾を発動へ。経済面での対立だけでなく、政治面での冷戦が長期化する。香港の市民弾圧に対する欧米の批判を受け、中国の反発姿勢も強まる。	**米中の貿易摩擦と外交的対立が長期化することで、投資家心理は一段と冷え込む。米国株安、円高・ドル安、業績見通し下方修正で日本株安に繋がりやすい。**

出所：楽天証券経済研究所作成（2019年6月20日）

(出所）各種報道より楽天証券経済研究所作成

日経平均を主導する寄与度上位銘柄

日経平均(225銘柄）の寄与度ランキング

#	コード	銘柄名	業種 (東証33業種)	直近株価 (円)	19年初来 騰落率	本年度予想 PER（倍）
1	9983	ファーストリテイリング	小売業	66,530.0	**18.0**	40.7
2	9984	ソフトバンクグループ	情報･通信業	5,152.5	**-29.5**	8.8
3	6954	ファナック	電気機器	20,040.0	**20.2**	38.8
4	9433	ＫＤＤＩ	情報･通信業	2,751.5	**4.9**	10.6
5	8035	東京エレクトロン	電気機器	14,810.0	**18.3**	14.8
6	6971	京セラ	電気機器	7,053.0	**28.1**	18.6
7	6367	ダイキン工業	機械	13,850.0	**18.4**	20.0
8	4543	テルモ	精密機器	3,210.0	**3.1**	28.1
9	6098	リクルートホールディングス	ｻｰﾋﾞｽ業	3,579.0	**34.4**	31.0
10	8028	ﾕﾆｰ･ﾌｧﾐﾘｰﾏｰﾄﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ	小売業	2,615.0	**-24.8**	26.3
11	4063	信越化学工業	化学	9,601.0	**12.5**	12.8
12	9735	セコム	ｻｰﾋﾞｽ業	9,420.0	**3.4**	24.2
13	4911	資生堂	化学	8,473.0	**22.9**	42.7
14	4452	花王	化学	8,400.0	**3.0**	25.2
15	6762	ＴＤＫ	電気機器	7,780.0	**0.8**	11.5

（出所）Bloombergのデータより楽天証券経済研究所作成